

プレスリリース

土佐鯉水産株式会社 代表取締役 明神宏幸

## 土佐鯉水産グループの鯉一本釣漁業で世界初の MSC 漁業認証取得

この度、土佐鯉グループの鯉一本釣漁業が、英国に本部のある海洋管理協議会（MSC）より「持続可能で適切に管理された漁業のための認証」を取得しました。厳格な審査の末、土佐鯉水産グループの漁業は、MSC 漁業認証エコラベルを付ける世界初の鯉一本釣漁業となりました。

日本の遠洋一本釣り漁業は 1950 年代に始まり、100 隻以上稼働していた鯉一本釣漁船は 現在 25 隻まで減船が進んでいます。年間総漁獲量は約 40,000 トンから 50,000 トンで、土佐鯉水産株式会社は、遠洋鯉一本釣漁船が漁獲する約 1 万トンの刺身向け鯉(B-1 凍結鯉鮪)を買付けています。遠洋鯉一本釣漁業は 11 月から 5 月まで南太平洋で操業し、6 月から 10 月にかけて日本の北方および東方海域で漁獲しています。

中西部太平洋のカツオ資源は、生物学的限界値の範囲内にあると見られています。この鯉一本釣漁業では、資源の生産性が維持され、他の海洋生物への影響が最小限に留まるように行なわれているものと確認されました。今回の認証の一環として、土佐鯉グループの一本釣り漁業は、世界と日本の漁業管理の枠組みをさらに改善し整備するための活動を推進あるいは支援できるものと自負しています。

弊社が鯉一本釣漁業の MSC 漁業認証に取り組んだのは、4 年前に MSC 事務所開設のため来日しました MSC の最高責任者ルパート・ハウズ氏に面会し、彼から「日本の鯉一本釣漁業は MSC の理念と合致する」との話を伺い、挑戦する決断となりました。御蔭様で「私達の先祖達が、櫓を漕ぎ、帆を張る舟の時代より発達させてきた『鯉一本釣り漁法』が、真に持続可能な漁法であることが証明されたことを誇りに思うとともに、ここに至るまでご尽力いただいた関係者の皆様

に感謝いたします。この度の MSC 認証取得によって、この伝統的な鯉一本釣り漁業が守られ、将来にわたり残っていくことを切に望むとともに、持続可能な漁業の重要性について消費者の認識が高まることを期待します。来年は名古屋市で COP 10・生物多様性条約第 10 回締約国会議が開かれ、魚類の資源保護に関しても国内外で世論が沸きあがると考えられます。この MSC 漁業認証取得を機会に『鯉一本釣り漁業』が再度光り輝く漁業となるよう、土佐鯉水産グループは今後も努力していく所存です。」

MSC の最高責任者、ルパート・ハウズ談。「土佐鯉水産グループの鯉一本釣り漁業によるこの重要な認証取得をお祝いいたします。この審査によって、カツオ漁業が、環境的に責任ある持続可能な漁業のための MSC の厳格で科学に基づいた基準による審査を受け、認証を取得できるとい

うことが明確になりました。信頼性の高い国際的に認められた持続可能な認証カツオの供給に対するヨーロッパ、北米や日本のバイヤーの需要がまだまだ満たされていない状況から見て、この認証取得は、日本国内はもちろんのこと、国際的にも大きな注目を集めることでしょう。今回の認証が、世界の他のカツオ・マグロ類漁業が審査へ進む後押しとなることを願っています」。

MSC 日本事務所の石井幸造プログラム・ディレクターは「持続可能な認証取得水産物の需要が消費マーケットで急増していることから、この MSC 漁業認証に基づく鰹一本釣漁船により漁獲された鰹が、消費者より支持されるものと確信しております。カツオは、日本人にとってなくてはならない魚であり、今回の認証が、持続可能な漁業の重要性に対する日本の消費者の認識向上につながることを期待しています。」と述べています。

なお、この認証を受け、11月6日14時30分より弊社静岡工場（静岡県藤枝市横内2287）にて認証授与式を開催することとしています。詳細につきましては弊社（TEL：054-646-8000）までご連絡ください。

以上